



Vol.56 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



「ボランティアによる日本語クラス」で学ぶみなさん

みんな
ともだち

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

英語スピーチと討論の会(ESD)

1月例会 1月9日 18:30~20:00

テーマ 「“Michigan” – general info about the states as it relates to me」
 スピーカー Danielle R.Lowrenz 氏 (ALT)

ミシガン州は、人口990万人で「米国第8位」、面積98平方キロマイル「11位」、一人当たりの所得\$44,627「21位」である。Fordがディアボーン市で創業して以来、G.M.がデトロイト、クライスラーがアナーバーに工場を持ち、自動車産業の中心となっている。産業誘致政策もあって、ケロッグ、ファイザー、グーグルなどのほか、航空機産業も立地している。最近では、自動車産業が不況でレイオフもあり、自分はディアボーンの生まれでFordのサービス会社に勤めていたのだが、これを機会に勤めを辞めて日本に来た。

ミシガンは気候的には富山と似ている。五大湖の4つの湖に面しており、特に工場が密集しているエリー湖は環境の問題もあるが、他の湖はきれいであり、釣り等のレジャーが盛んである。

参加者は、自動車産業に関心を持ち、興味深く質問をしていました。



2月例会 2月13日 18:30~20:00

テーマ 「The Consumerism shopping and spending habit in Japan and America」
 スピーカー Robert Booth 氏 (ALT)

1986年に来日した時と2005年に再来日した時の違いに驚いた。郊外に大型店が次々とオープンし、買い物客を奪われた市街地の空洞化が進んでいた。実際、同じような現象がアメリカでも30年ぐらい前に見られたが、最近では市街地活性化が見られる都市がかなり出てきている。ある都市では古いデパートの下の階を駐車場にし上の階には専門店を入れたりして客を呼び戻している。

日米の買い物・消費傾向を比較する上で、テレビのCMを比較してみるとその違いが垣間見えてくる。日本のイメージを中心にした、時として最後まで何を宣伝しているのかわからないようなCMとは異なり、アメリカのCMは、視聴者をCMの間もテレビに釘付けにしておくような様々な工夫がなされている。

しかし、CMにはその国の文化が反映されているので、アメリカ流は日本では多分受けないだろう。というのがロバートさんの結論でした。



3月例会 3月13日 18:30~20:00

テーマ 「Using authentic media(Sample of Pop culture) to help students learn a foreign language」
 スピーカー Tiffany Dyer 氏 (ALT)

講師が、米国で日本語を勉強した時、先生は教科書だけでなく、アニメなども用いながら教えて下さった。そのことがモチベーションをとて高めた。同じことが英語の学習にも言えると思う。歌や、米国人が実際に使っているものに触れたり、学んだりすることで、英語の学習意欲が高まるのではないかな。

ダイヤーさんは、外国語を教える時のヒントを自身の経験を通して話されました。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。



国際教養委員会特別講演会

3月17日 13:30~15:00

テーマ 「Rethinking Liberal Imperialism: Problems in Postcolonial Approaches to Asia」
 スピーカー David McInerney 氏 (井波高校ALT・オーストラリア出身)

マッキナニー氏は、現在イラクで起こっていることを19世紀のイギリス支配下のインドになぞらえて解説されました。「自由主義を植えつけようとする英国人は、インドの実態を理解した上ではなく、自国の階級間の闘争をそのままイ

ンドのヒンドゥーとイスラムの間の闘争に投影した。こうした傾向は、一国が他の国を善意からであろうと、影響をあたえようとするときによくありうることなので、気をつけねばならない。…」と。

講演は、英語で行なわれましたが、日本語の通訳がつかしました。



多国言語文化交流クラス

セネガル&ウーロフ語

2月3日

講師 ウスマン・サンガレ氏(富山大学留学生)

セネガル共和国は、パリ・ダカールラリーの終着点として知られているダカールを首都とし、西アフリカに位置しています。

ウスマンさん自身はイスラム教徒ですが、中高一貫のキリスト教系の私立校に通っていたそうで、学校によって多少の違いはありますが、英語は中学1年から、3年生になると第3外国語の勉強も始めるそうです。6ヶ国語を自在に操るウスマンさんの才能の源流は、多言語国家であると共に、セネガルの外国語教育システムにもあるのかもしれない。

旧フランス植民地だったセネガルは、奴隷貿易という悲しい過去を持っています。現在では観光地となっているゴレ島も、以前は奴隷貿易の拠点のひとつだったそうです。島内にある建物の扉はフランス語で“la porte du non-retour”ノリーターンドア(戻れないドア)と呼ばれており、過去このドアから多くの人々が奴隷としてヨーロッパやアメリカ大陸へ送られたそうです。

植民地時代の悲しい歴史を、明るく流暢な日本語で話すウスマンさんの口調が、かえって悲しさの重みを感じさせるようでした。



オランダ&オランダ語

3月3日

講師 Tanya Verspay氏(主婦 富山市在住)

オランダは、日本から遠くに位置する国ですが、厳しい鎖国政策の江戸時代でも交流があり、去年は皇太子御一家が静養に出かけられた事、又、富山特産のチューリップを通して私達には身近かに感じる国です。

元教師でもあったターニャさんは、プレゼンテーションがとても上手で、先ず初めに参加者からオランダのイメージをアンケート形式で聞きだし、それらについて美しい映像を用いながら解説されました。国土の4分の1が海面より低く、高い堤防によって護岸されている。水路が縦横に走っているため水運や灌漑が進んでいる。国土は狭いが山が無く平坦なので住む地が多い。ほか、文化や生活、ホームレスや泥棒もいることなどを日本と比較し、わかりやすく楽しくすすめていきました。

参加者は、風車を背にしてオランダの田園にいたような気分になって、ターニャさんの話にすっかり魅了されました。



日本語ボランティア登録者研修会



講師 原 和子氏
(国際教養委員会副委員長、
日本語教師会ゆうゆう代表)

山崎 真理子氏
(日本語教師会ゆうゆう)

3月3日
当センター

日本語を必要とする外国の人たちのよりよい学習支援を目指して開催され、20余名の参加がありました。

研修会では、読解の教え方と文型指導について研修しました。従来の読解授業から一歩進んで、内容を理解してから、練習をして発信するための方法を、実際の教材を見ながら学びました。また、文型指導の仕方、「みんなの日本語」の教え方の実際のデモンストレーションを見て、意見交換をしました。

講師から「この研修会を通して、多くの方が日本語ボランティアとして活動されることを期待しています。また、日本語ボランティアの登録者の研修が定期的に行われ、充実した制度になればいいと思います。」と伝えられました。

英語通訳・ガイド実践クラス



2月24日

富山在住のニュージーランド人 デビット・ホーズリーさんに同行してもらって、富山駅北口周辺excursionを行いました。「北電ワンダーラボ」「富山市体育館」「自遊館リフレッシュプラザ」を回り、施設の係の方に案内してもらって、各施設のガイド・通訳を实践することができました。(参加会員は11名)

国際教養委員会

平成18年度 中国語会話集中講座開催



中国語講座で一年間学習した中国語を使って、会話を楽しみ、会話能力の向上を目指したいと、総数113名の受講者がありました。会場は毎回いっぱいでした。

- | | | | |
|-----|-------|-----------------------------|------|
| 第1回 | 3月3日 | 10:00~12:00 | 湯 老師 |
| | 入 門 | 「在、有、数字の使い方」 | |
| 第2回 | 3月3日 | 13:30~15:30 | 胡 老師 |
| | 中 級 | 「中国ドラマを見よう 一灯火闌珊」 | |
| 第3回 | 3月4日 | 13:30~15:30 | 郭 老師 |
| | 特別講座 | 「“カラフル”な中国語
一色を表す言葉の面白さ」 | |
| 第4回 | 3月10日 | 10:00~12:00 | 応 老師 |
| | 入 門 | 「絵を見て話してみよう」 | |
| 第5回 | 3月10日 | 13:30~15:30 | 銭 老師 |
| | 初 級 | 「昔話を聞こう 一鶴の恩返し」 | |

19年度海外研修決まる

10月上旬・ダラム市訪問

富山市の姉妹都市 米国のダラム市では、念願のパビリオンの建設工事をサラ・P・デュークガーデン内で着工されました。夏には完成の予定です。これに合わせ19年度の海外研修は、パビリオン完成式に参加することになりました。

日程は10月上旬としており、詳細については次号(7月号)でお知らせします。ご期待下さい。

姉妹友好都市委員会

日本語クラス

中国人のための

1月23日(火) 当センター

日本の生活習慣を知る

日本語クラス

近年、富山でも中国からの花嫁さんが多くなっています。そこで、日本語を学びながら少しでも早く日本の生活に馴染むことができるように…とこのクラスが始まりました。

日 時 毎月第2・第4火曜日 午前10:30~12:00
(全12回)

参加費 1回300円(資料代等)

講 師 中国語ができる講師です

如果您想尽快地习惯日本的生活, 想和周围的人们和睦相处, 请到我们这里来, 对您一定会有帮助的。

日本で生活して、疑問に思ったこと、不思議に感じたことはありませんか?

基本的な日本の生活習慣や知識を楽しく学ぶクラスです。

- | | |
|-------|--|
| 1月23日 | 豆まき(節分)／お風呂の入り方／日本のあいさつ |
| 2月13日 | 生活上の問題点／あいさつ／電話の受け答え |
| 2月27日 | ひなまつり／たみみの掃除／ゴミ分別／布団のたたみ方
バス・市電の乗り方／天気予報の見方 |
| 3月13日 | 悩み相談 |

について学びました。

おめでとう！ 高校合格お祝い会

「こどもの日本語」教室で学習していた、クリスチーナさん(フィリピン)が高校に合格しました。

「こどもの日本語」教室の講師たちは、この教室で学んでいる子どもたちと一緒に祝いの会を開いて楽しく交流しました。この教室で学んで一年前に高校に合格したポール君(フィリピン)と、照峰君(中国)もお祝いに来てくれました。先生たちの準備したジュースで乾杯、ケーキやお寿司を食べて、ビンゴゲームをしたり、思い出話で楽しく過ごしました。

今、勉強している子どもたちにとっては、高校に合格した先輩や、高校へ通っている先輩に会うことによって日本語の勉強への意欲、新しい目標ができます。ひろき君(小学6年)もステキな先輩たちと生き生きとたのしそうに話していました。

講師たちは、「ここは、子どもたちにとっては仲間に会えてリラックスできる居場所。今後このような会を通して居場所作りをしていきたいと思います。」と…。



2月24日 当センター

委員会報告

スポーツ交流会



「太極拳」
講師 陳建強氏

1月28日
当センター

陳先生の模範演技を見学し、基礎知識を聞いた後に少し準備運動で身体をほぐしました。判り易い指導で太極拳の入門編24式太極拳の手解きを受けました。

まだまだ頼りない足取りでしたが、汗ばむ顔を拭きながら、貴重な体験に全員満足気でした。

フランス、ハンガリー、米国、コンゴ、中国、韓国、ネパールなど富山在住の外国人や会員ら大勢の参加者があり、ぶつかり合うほど会場も狭く感じられました。

日本伝統文化の紹介



「華道」
講師 堀田順子氏

2月18日
当センター

「日本の文化を体験したい！」とオランダ、ハンガリー、ロシア、中国、ネパール、インドネシア、フィリピンなど富山在住の外国人や留学生ら15人が参加しました。

はじめに小原流の「かたち」や花型などについて説明を聞いてから、フリージャやスイートピーなど春を告げる柔らかな色の生花を思い思いに生けてみました。真剣な面持ちで気持ちを集中して初めての生け花に挑戦！

生け終ってホッとニコニコ顔で、お互いの作品を講評したり、写真を撮り合ったりしながら異文化理解と交流を楽しみました。



「茶道」
講師 亀田文子氏

3月11日
当センター

カナダ、ロシア、インドネシア、中国など約20人の参加者全員が「茶道は初めての体験です」と。

先ず、礼儀作法としてお辞儀の仕方を練習し、作法の厳しさを実感しました。お手本を見た後、お抹茶をたてる側とお客側に分かれて、作法通りにお抹茶を味わいました。

茶道の精神性は「一期一会」であり、相手の気持ちを尊ぶところにあることを教えられ、参加者は満足して体験を終えました。

富山大学留学生ホームビジット

日本の料理つくりました。 2月10日
日本の料理おいしいです。



富大留学生センター日本語研修生の李領偉（中国）さん、モハammad マスット カリム（パングラディシュ）さん、ファントン ウイルソン イエット（カメルーン）さんが我が家にホームビジットされました。

3人はそれぞれ母国の大学を終え、昨年の10月に富山に来て、今春富大大学院に入学予定の日本政府による奨学生です。

我が家での昼食メニューは、お雑煮、ちらし寿司など。「皆で一緒に作って食べたい」という要望が前もってあったので、3人にも包丁をもって台所に立ってもらい、ちらし寿司の具などを刻んでももらいました。それが大変気に入ったようです。「オイシイ、オイシイ」といいながら頂きました。食後は、家にある地図などを見ながらそれぞれお国のこと、家族のことなど話しました。

3人とも専門の勉強（電気、薬品、水）、日本語の勉強に忙しい学生さんですがこの協会のイベントにも参加したいようです。お国の紹介、料理教室、日本語の勉強など機会があったら声をかけてあげてください。

今回は、北京から1か月帰省中の娘がいろいろ手伝ってくれて大変助かりました。

家族会員 小池 和子

料理教室

「ブラジル料理をつくろう」



講師 辺見ジュリア氏

2月15日
富山市中央保健福祉センター

中国、台湾、韓国、オランダ、タイなど富山在住の外国人とボランティア委員会の人たちが参加（18人）しました。

はじめに栄養指導教室の栄養士の講義で、塩分ひかえめ、栄養のバランスを考えた食事が大切であることを勉強しました。

ブラジル料理は、塩と辛味のスパイスをよく使うそうですが、今回は塩分控えめでさっぱりとした味付けに工夫して調理しました。

ジュリアさんは、ブラジル中央部出身で日系2世。日本に来てもう17年になるそうです。

〈メニュー〉

アロス アリョ エ オレオ（にんにくライス）
フェイジョン（うずら豆の煮物）
ヴィナ グレッチ（野菜のあえ物）
コウヴェレ（コウヴェ葉の炒め物）
キビ（黍とひき肉ノコロッケ）
ツナケーキ

文化交流委員会

ボランティア委員会

「富山に住む外国籍の子どもたち」 ～勉強お助け隊を通じて～

講師 米田 哲雄氏
(子どもの日本語グループ代表)



昨年の11月27日に実施された「平成18年度国内研修」は、「富山に在住する外国人が増加する中で「外国籍の子どもたち支援のために、今できることは…」を模索する”ため「不就学ゼロ」をめざす、岐阜・可児市国際交流協会と、ばら教室KANIを訪ねました。参考になることが多く、大変有意義な研修でした。

そこで、TCAカレッジでは、可児市で学習したことを参考に富山の状況や環境に合わせた取り組みを学習し考えました。

「国際交流TCAカレッジ」に参加して

田上 栄子さん

(日本語教室in太閤山ボランティア)

富山県の平成17年学校基本調査によると、369人の外国人児童生徒がいて、その中で日本語の指導が必要な子どもは228人(文部科学省発表)とされています。

このような子どもたちは、親に連れられて日本に来たという事情があるため、主体的に来日する大人とは動機などの点で大きく違います。彼らは、ことばや文化の壁に加え、学校生活や学習レベルなど多くの課題を抱えながらやっと中学校を卒業しても、高校へ行けない場合が多い。富山に住むこのような外国籍の子どもたちが抱える問題は何か、また、どのように関わったらいいのか、を大人たちに広く知ってもらいたい。そして、支援してほしい。と、熱く訴えられました。

いま、「勉強お助け隊」では、中国とフィリピンの子どもが中心で約15人が漢字の勉強、国語の教科書の音読や作文の勉強をしています。米田先生は、「子どもたちには自信を持って学校の授業に参加できる力をつけたい。そして、ボランティアの人たちには、ここで経験したことをそれぞれの地元でも生かして欲しい」と話しながら自らをコーディネーターと位置づけておられます。

今後、富山での支援活動を広げていく上で、米田先生のような精通したコーディネーターの役割はますます重要になってくるでしょう。

総務企画委員会

新春国際交流のつどい2007

1月13日 CiC 5F 多目的ホール



みんなで踊ろう!「サンバ」



和やかに「福笑い」

アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、そしてオセアニアから…、富山在住の18ヵ国の外国人と会員ら140人が「こともよい年でありますように…」楽しく交流しながら新春を祝いました。

プログラムは、祝賀の舞・日本舞踊、八嶋健三会長のあいさつの後、子どもたちもステージでかわいいお手伝いをして「手品」、ちょっと技術の要るバルーン・アートに続いて、日本のお正月ではおなじみの遊び「福笑い」を和やかに楽しみました。「みんなで踊ろう!」では、全員が会場いっぱいの大きな輪になって、フォークダンス(マイムマイム&タタロチカ)を、また、慣れないステップでサンバをみんなで踊りました。毎年、大人気の「お楽しみ抽選会」は、今年はシクラメンの花鉢が20鉢の景品に大喜びで明るい声がひびき、会場は華やぎました。

参加者は、お餅やお菓子などを食べながら、出し物や友人との会話を楽しみました。



子どもたちもお手伝い「手品」



初めて体験した「バルーン・アート」

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
お花見交流会	4月4日(水) 10:00~14:00	集合サンシップ7F 松川べり	ボランティア	400円	会員・外国人
多国言語文化交流クラス「パラオ&パラオ語」	4月7日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会例会 講師 Mr.David Horsley	4月10日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
理事会	4月20日(金) 14:00~	当センター	—	—	—
ボウリングを楽しむ交流会	5月13日(日) 11:00~	富山ゴールデンボウル	文化交流	500円	会員・外国人
英語スピーチと討論の会例会 講師 Mr.Philip Graham	5月15日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
総会・記念講演会・懇親会 記念講演 講 師 アンジェロ・イシ氏 (武蔵大学社会学部准教授) テーマ 「在住外国人の素顔と本音 ～日系ブラジル人の話題を中心に～」	5月20日(日) 14:00~	とやま市民交流館学習 室・富山エクセルホテル 東急リコモnte	合 同	懇親会4,000円	会 員
ボランティア養成講座	5月29日(火) 14:30~16:00	サンシップ大ホール	ボランティア	無料	会 員
語学(災害)ボランティア養成講座(韓国語)開講 記念講演 講 師 須田 麗子氏 (ブルネイ ダルサラーム出身) テーマ 「未定」	6月9日(土) 13:30~15:30	当センター	—	記念講演は 無料	会員・一般
料理交流会「日本の家庭料理」	6月未定 10:30~14:00	富山市中央保健 福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
もっと知ろう世界の街「ロシア」 講師 フィラトフ・デニス氏	6月17日(日) 13:30~15:00	当センター	文化交流	無料	会 員

平成19年度 富山市民国際交流協会総会

と き 5月20日(日) 14:00
ところ CiCビル3F 学習室1~3
・総 会
・記念講演 講 師 アンジェロ・イシ氏 (武蔵大学社会学部准教授)
テーマ 『在住外国人の素顔と本音
～日系ブラジル人の話題を中心に～』
・交流レセプション 16:30
富山エクセルホテル東急レストラン「リコモnte」
参加会費 4,000円
※多くのみなさんの出席をお待ちしております。

事務局の移動・・・引っ越しました！

富山市国際交流センターは、3月28日から「とやま市民
交流館 交流ひろば」跡(姉妹友好都市コーナーの横)に
移りました。

事務局のスタッフ・・・こんにちは！

平成19年1月からポルトガル語相談員として白川・セリ
ナ・サナエさんが着任されました。
どうぞよろしくお願いいたします。

平成19年度講座開講

協会主催講座

講 座	実施時期および日時	受講料等
ポルトガル語(入門)	毎週水曜日 18:30~20:00 5/16~ 30回	7,000円
韓国語(入門)	毎週水曜日 17:45~19:15 5/16~ 30回	7,000円
韓国語(初級)	毎週水曜日 19:20~20:50 5/16~ 30回	7,000円
中国語(初級)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/18~ 30回	7,000円
ボランティアによる日本語クラス	毎週(随時) 随時 週1回	300円
外国籍児童・生徒支援 こどもの日本語	毎週水曜日 10:30~12:00 週1回	無 料
学習日本語支援「教室勉強お助け隊」	毎週木曜日 14:00~15:30 週1回 毎週日曜日 10:00~12:00 週1回	無 料 無 料
月季の会	第2金曜日 14:00~16:00 月1回	無 料
中国人のための日本の習慣を知る日本語クラス	第2・4火曜日 10:00~12:00 月2回	300円
高校生のための通訳ガイド入門集中講座	夏休み期間中	1,000円
多文化共生生活通訳ボランティア養成講座(英・中・仏)	未定	年5回予定 1,000円
語学(災害)ボランティア講座(韓国語)	募集案内参照	全10回 500円

国際教養委員会主催講座

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2. 国際交流のための時事英語クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論の会(E.S.D.)	毎月第2火曜日 18:30~20:00
4. 日本文化英語交流クラス	毎月第3土曜日 10:00~12:00
5. 日本語ボランティア養成講座(春・秋クラス)	第1・3木曜日 10:30~12:00
6. 中国語入門クラスA	毎月第1土曜日 10:00~12:00
7. 中国語入門クラスB	毎月第2土曜日 10:00~12:00
8. 中国語初級ヒアリングクラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9. 中国語実践会話クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
10. ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
11. 多国言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:00

受講者募集！

研修場所 当センター

平成19年度

語学(災害)ボランティア養成講座(韓国語)開講

災害発生後の生活相談等に関する基本的な知識を学び、
災害復興時などに活動する語学ボランティアを養成する
「語学(災害)ボランティア養成講座」(韓国語)受講生
を募集します。

応募条件 次の①~③の条件すべてに該当する方対象です。

- ①災害時に語学ボランティアとして活動する
意欲のある方。(ただし、ボランティア活
動を義務付けるものではありません。)
- ②18才以上(高校生除く)の富山市内在住の方。
- ③韓国語学習経験1年以上の方。

開講予定日 6/9 6/23 7/14 7/28 8/25(防災訓練)
9/8 10/13 10/27 11/10 11/17(全10回土曜日)

場 所 富山市国際交流センター会議室(駅前CiCビル3階)

受 講 料 無料(ただし教材費10回分 500円)

募集人数 20名

お問い合わせお申込み 富山市民国際交流協会まで

〒930-0002 富山市新富町1-2-3 CiCビル3F

TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643

E-mail info@tca-toyama.jp

編集後記

1990年の入管法改正以来、外国人登録者数はこの10年間で約46%増とな
り、今後、外国人住民は更に増加すると予想されます。

当協会の「日本語ボランティア養成講座」は、平成10年に開講され、も
う17回目となります。これまでに多くの人たちが修了証をもらって日本語
ボランティアとして活動しています。

先日「TCAカレッジ」や「日本語ボランティア登録者研修会」に参加
しました。ともに、日本語を必要とする外国人の人たちのよりよい支援を目
指すことを内容としたものでした。合うような教材がない、天候が悪かっ
たり、教え方が悪いと来なくなるなど苦労や、共に学び合って一緒に喜び
合える楽しさなど…。私は、聴講するうちに講師たちの情熱、たゆめぬ努
力と工夫、あたたかい思いやりに感動し、頭の下がる思いでした。

外国人住民を取り巻く諸問題には、「ことばの壁」「制度の壁」「こころ
の壁」などさまざまな問題が絡み合っています。

いっしょに生きる。多文化共生社会に向けた取り組みは、まず、お互い
に解り合う、認め合う、それは、あたたかい思いやりの心からはじまるの
ではないでしょうか。

広報委員長 岡田昌代